

1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣・気】
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。【慣】
- ・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。【コ】

2. 言語材料

- Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have(six). Do you have a ("b")? Yes, I do./No, I don't.
- 小文字(a～z),

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4単元計画(4時間)

時	目標◆と主な活動○	評価の観点〈方法〉
1	◆身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○「これは何かな。」「どこにあるかな。」 【Let's Watch and Think】 p. 22 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 ○ポインティング・ゲーム ○ミッシング・ゲーム 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23	◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。【気】 〈行動 観察・振り返りカード分析〉
2	◆活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23 【Let's Play1】 p. 23 【Let's Play2】 p. 23 ○マッチング・ゲーム	◎活字体の小文字の読み方を聞いたと言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23 ○BINGO ゲーム 【Let's Listen】 p. 24 ○アルファベット文字クイズ	◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23 【Activity1】 p. 25 【Activity2】 p. 25	◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。【コ】 〈行動観察・振り返りカード点検〉

4年Unit6—Lesson1 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 1/4時間

目標 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト、身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真、教師用カード（大文字・小文字）、デジタル教材、振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
展開	○これは何かな。 ・指導者の質問に答える。 ・大文字の読み方を思い出して言う。	・指導者はあらかじめ児童の身の回りや地域にある。 ・大文字で表示されたロゴや標識などを用意しておく。 ・黒板にそれらのアルファベットの大文字をゆっくり書き、児童にそれらが何かを尋ねる。 ・すでに3年生時に学習したローマ字で扱った小文字の存在にも気付かせるようにする。 ◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。【気】 〈行動観察・振り返りカード分析〉	身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真 教師用カード（大文字・小文字）
	○どこにあるかな。 ・誌面から、さまざまな文字、看板を見つけて発表する。 ・指導者が言う文字を探して発表する。	・児童用テキスト p. 22, 23 を開けさせ、どのような文字があるかを発表させる。文字の名称を言い、それがどこにあるか探させる。また、活字体以外の筆記体に気付かせ、次の活動につなげる。	デジタル教材 児童用テキスト
	【Let's Watch and Think】p. 22 ・身の回りにある看板や表示を見て、アルファベットの小文字を知る。	・前活動を生かして、映像資料を視聴させ、音声と一緒に文字の読み方（名称）を言うよう促す。	
	【Let's Sing】ABC Song p. 23 ・音楽に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。 ・「Z」はイギリス英語とアメリカ英語では読み方が異なることに触れる。	デジタル教材 教師用カード（小文字）
	○ポインティング・ゲーム	・児童用テキストp. 14, 15の周りにある小文字を使って、ポインティング・ゲームをする。 ・個人で行う。指導者の後について文字の名称を言う。	
	○ミッシング・ゲーム	ミッシング・ゲームの進め方 ・1～8枚の教師用カード（小文字）読み方を再度確認する。 ・隠すカードは1枚から始め4枚程 ・黒板にカードを掲示してから児童に隠されたカードが何かを児童に考えさせ発表させる。	
まとめ	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

※小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行いが、評価の記録は残さない。次時に合わせて、小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。

4年Unit6—Lesson1 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 2/4時間

目標 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト，教師用カード（大文字・小文字），児童用カード（大文字・小文字），デジタル教材，おはじき，振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。	
展 開	【Let' s Sing】 ABC Song p. 23	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
	【Let' s Chant】 Alphabet Chantp. 23	・小文字カードを児童と言いながら黒板に掲示してから，チャンツを児童と一緒に言う。	教師用カード小文字)
	【Let' s Play1】 p. 23 ・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して指さす。	・誌面 p. 22, 23 を開かせ，指導者が言ったり，デジタル教材を聞かせたりして，アルファベットの文字を探させる。慣れてきたら，出題者を児童にしてもよい。	デジタル教材 児童用テキスト おはじき 教師用カード小文字)
	【Let' s Play2】 p. 23 ・誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。	進め方 ・児童は自分のテキストの誌面にあるアルファベットの小文字から5つ選んで，その上におはじきを置く。 ・指導者は，26 の教師用カード(小文字)から10枚選んで持ち，児童にはどの文字かは見せない。 ・児童が，Do you have ~?と尋ね，指導者がYes, I do. Have ~. /No, I don't.Sorry. と答え，指導者が持っているアルファベットにおはじきを置いていたら，そのおはじきを取る。おはじきがなくなった人があがり。 ◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
	○マッチング・ゲーム ・大文字と小文字を対応させる。	・教師用カード（大文字）を黒板にアルファベット順に並べながら，児童と一緒にその名称を言う。 ・教師用カード（小文字）を大文字の下に並べながら，児童と一緒にその名称を言う。 ・次に，児童の実態に応じて，次の活動をペアやグループで行う。個別に支援をする。	教師用カード (大文字・小文字) 児童用カード (大文字・小文字)
ま と め	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

4年Unit6—Lesson3 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 3/4時間

目標 身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。

準備 児童用テキスト，教師用カード（小文字），児童用カード（小文字）

ワークシート（Unit1-2, 1-3：ビンゴシート），身の回りの物など，デジタル教材，振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。	
展 開	【Let' s Sing】 ABC Song p. 23	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
	【Let' s Chant】 Alphabet Chantp. 23	・小文字カードを児童と言いながら黒板に掲示してから，チャンツを児童と一緒に言う。	
	○BINGO ゲーム	BINGO ゲームの進め方 ・ビンゴシート縦4×横4に並べ，ビンゴシートを作る。 ・指導者は26枚の小文字カードから数枚選び，文字を児童に見せないように持つ。 ・Do you have?で尋ね，Yes, I do. I have. No, I don' t. と答えたりする。	教師用カード(小文字) 児童用カード(小文字) ワークシート (Unit1-2, 1-3 : ビンゴシート)
	【Let' s Listen】 p. 24	・児童用テキストp. 24でLet' s Listenの音声を聞いて，誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を□に記入する。	
	○アルファベット文字クイズ ・ペアで身の回りにあるアルファベットの文字クイズをする。	・前活動の進め方を参考に，誌面p. 22, 23にある表示や身の回りにある表示について，ペアでヒントを出したり，ヒントを聞いてそれが何かを答えたりするよう告げる。 ◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト 身の回りの物など
ま と め	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

4年Unit6—Lesson3 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 4/4時間

目標 相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。

準備 児童用テキスト, 教師用カード(小文字), デジタル教材, 振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	デジタル教材 教師用カード(小文字)
展 開	【Activity 1】 p.25 ・5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。	・デモンストレーションで代表児童に1つの表示を選ばせ、指導者がDo you have a~? と尋ねる。 他の児童にも一緒に質問するように促しながら、進め方を理解させる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字)
	【Activity2】 p.25 ・児童用テキストの10色の中から好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を考えて答える。	・Activity 1と同様の進め方で、好きな色を題材にして行う。 ・デジタル教材で登場人物の「あやめ」と「れん」のやり取りのモデルを聞かせてから行うとよい。 ・難易度を上げるために、当てる側の質問回数を2回までとするなど、児童がより意欲をもって尋ね合うことができるように児童の実態に合わせてルールを工夫する。 ・相手を替えて何度も繰り返すために、それぞれの色が好きな友達を見つけるよう呼びかけるなど、児童が意欲的に伝え合うことができるようにする。 ・途中で活動を止め中間評価を行い、よいやり取りをしているペアにやり取りを再現させ、学級全体でよいところを確認するなどして、後半の活動がよりねらいに沿ったものになるようにする。 ◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。【コ】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
ま と め	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード